

県酪だより

2016

10

No.226

第57回 福島県農業賞

集団活動部門「農村女性活動の部」 県酪婦人部やまびこ会が受賞しました



九月九日(金)福島市の杉妻会館で第五十七回福島県農業賞表彰式が行われ、県酪婦人部やまびこ会が、集団活動部門「農村女性活動の部」で受賞いたしました。設立当初から行っている畜舎環境整備事業や牛乳の消費拡大の活動、県内酪農業の再生に活力を与えていることなどが評価されました。表彰式には中瀬会長・安齋副会長・橋本副会長が出席し、内堀福島県知事より褒賞が授与されました。

やまびこ会は設立から二十四年目を迎えますが、諸先輩方が様々な事業を行い、活発な活動を続けて下さったことや会員の皆様が事業内容について、女性ならではのアイデアを出し合い、積極的な活動をしてきたことが認められ今回の受賞となりました。歴代やまびこ会会長、役員の皆様、会員の皆様に深く感謝いたします。

やまびこ会の名前の由来は、「いままで地域での活動だったものが県内ひとつになつて、広くこだまのようにみんなの意見がひびきわたり、隅々まで届きそれが聞き入れられるような会にしたい。誰もが気兼ねなく参加出来るような会にしたい」という願いが込められ、石川町の迎和子さんが応募した「やまびこ会」という名前が選ばれました。この度の受賞を励みとし、これからも牛乳のPRやその他の事業を展開し、酪農業界発展の為努力してまいります。

第23回 ふくしま酪農まつり

～ふくしまの牛乳はおいしい～



メインステージでの乳搾り大会



木陰広場は木々で覆われ涼やか



牛乳乳製品の試飲や販売



メインステージでの催しも盛況



子供達に人気のゲームコーナー



牛乳パックで帽子づくり



牛肉串焼き

九月十一日(日)福島市のあづま総合運動公園・木陰広場を会場に、県酪農協主催第二十三回ふくしま酪農まつりが天候にも恵まれ約六五〇〇名の来場者で賑わいを見せました。

県北支所の酪農家が消費者へ酪農理解と牛乳乳製品の消費拡大、風評払拭を目的として開催している祭りで、多彩なイベントやアトラクションを用意し、実際に搾乳を体験したり、仔牛に触れたり、酪王パックで帽子作りをしたり、多くの子供連れのご家族の歓声が響き渡っていました。

今年新たに焼肉に変わって牛串焼きを提供し準備した五〇〇食の肉が完売する盛況ぶりでした。その他飲食ブースには、浪江焼きそば、酪王クラッチを載せたクレープ、チョコバナナ、ら・サント等も祭りに花を添えていただきました。PR・試飲ブースでは、手作りのふりふりカフェオレや酪王製品を試飲したお客様からは福島牛の牛乳はおいしいと多くの声をいただきました。

福島県酪農青年研究連盟

平成28年度酪農出前講座

“うつくしまも～も～スクール”を開催!!

今年はじめの!!

もーもースクール in 西郷養護学校



平成二十八年九月十五日、県南酪農研究会・県南やまびこ会主催で、西郷養護学校にてもももスクールを開催しました。天候にも恵まれ、小学部の生徒・先生を含め、六六名が参加しました。

酪農の話、バター作り、子牛のふれあい、搾乳体験を行いました。子供たちにとって初めての体験が多く、充実した時間を過ごし

てもらうことができたとおもいます。牛を間近で見ても、直接触れ、その大きさや温かさを感じ、様々な気づきや驚きがあったようです。新鮮な反応や笑顔をたくさん見ることができ、会員のみなさんも酪農へのやりがいを感じたことと思います。これからも、このような活動を通して、命のぬくもり・食の大切さを伝えていきたいです。



福島県牛乳普及協会 1/30(土)開催!!

去る九月三、四日は郡山市ビッグパレットふくしまにおいて、食の祭典「おいしいふくしまいただきます！」フェスティバル二〇二六（※通称：いたふく二〇二六）が開催され、当福島県牛乳普及協会も「ミルクフェア二〇二六」と題し出展者中最大規模のブースにて出展いたしました。

両日は県内乳業メーカー六社の即売会の他に、牛乳・乳製品の普及と販促を目的に多彩な企画で来場者にアピールし、とても賑やかに開催することができました。具体的な実施企画は次のとおりです。

- 一、ガチャガチャチャンス！
各メーカーの賞品を当てよう！
- 二、蛇口から牛乳・乳飲料が！
- 三、味の素グループタイアップ商品サンプリング&試食会
- 四、骨密度測定コーナー
- 五、手作りバターにチャレンジ
（三日土曜日のみ開催）
- 六、紙パック工作コーナー（四日曜日のみ開催）

ガチャガチャチャンス企画では一商

品お買い上げ毎にガチャコインを提供し、できたカードに記された当選品を他の乳業メーカーで受け取るという、乳業者間で回遊する企画として実施した結果、参加各社に対して高い販促効果を得ることができたようです。二日分用意した賞品が一日目に底をつくほどの人気を博しました。乳業者の販売商品も完売して大きな結果を残せたのではないかと考えております。

蛇口から注げる牛乳・乳飲料は、味の素グループ商品の試食・サンプリングのタイアップ企画として実施いたしました。蛇口から牛乳や乳飲料が出てくるのは来場者に大きなインパクトを与えたようで、常に行列ができるほどの人気コーナーとなりました。味の素グループとのタイアップ内容は、「旬の果実のグラノラ（二種類）」と「冷たい牛乳でつくるポタージュースシリーズ（三種類）」を試食・サンプリングするため、相当数を無償で提供いただきました。牛乳・乳製品の普及



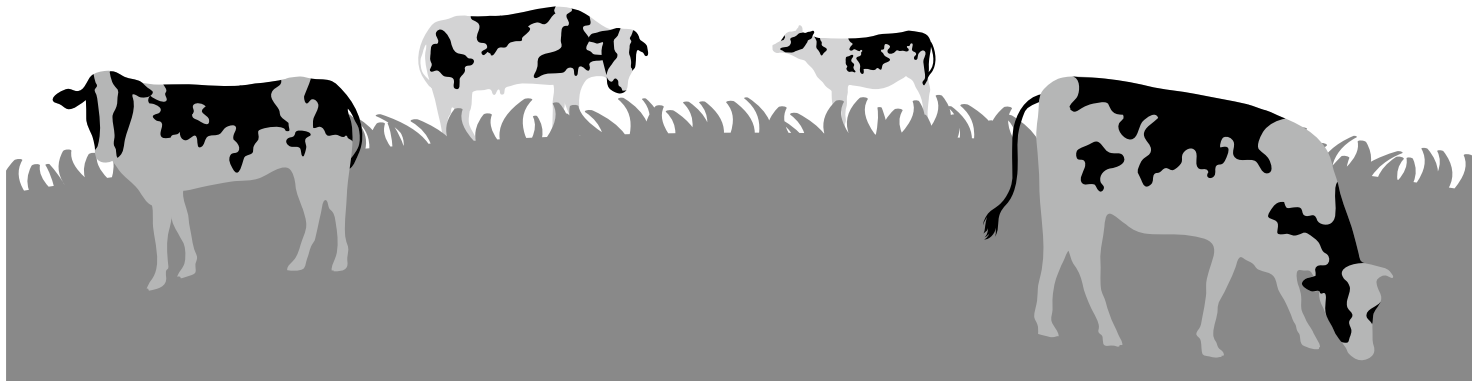


促進にはそのまま飲用に供するだけでなく、こうした「牛乳を注ぐだけでおいしく食べられる」製品群を開発いただけると需要が高まるのでとても良い機会だったのではないかと考えています。

定番企画として実施した骨密度測定コーナー、手作りバターチャレンジコーナー、紙パック工作コーナーといった参加型・体験型のコーナーも人波が途絶えることなく、如何に「モノ」より「コト」がコミュニケーションに重要

な要素であると、今後とも体験型の企画を推進していく予定です。

いたふく(一〇)二六の二日間の来場者は二万人十二、八万人の合計四、八万人とのことで高い集客力を持つイベントです。牛乳普及協会のブースはメイン会場出口付近に位置したため、相当の来場者が目にし、参加されていたのではないかと推測します。牛乳・乳製品のますますの消費・理解の一役となれたら幸いです。



今年で6年目

地域交流牧場全国連絡会主催

平成28年度東北復興支援事業 もーもースクール in 小名浜 を開催!!

今年度は、福島県いわき市立小名浜第二小学校で開催!!



地域交流牧場全国連絡会主催により、乳牛や酪農家とのふれあいを通じて東日本大震災被災地の子供たちの心の傷を癒すとともに酪農・牛乳乳製品のへの理解醸成、食と命の学びの支援を図ることが目的で、震災後の二〇一一年より、岩手・宮城・福島を中心に開催してきました。

今年度初めての開催となった九月六日(火)には、福島県いわき市立小名浜第二小学校において、「もーもースクールin小名浜」が開催されました。

地域交流牧場全国連絡会の会員並びに福島県の会員、中央酪農会議など、福島へ一八名の参加者が集まり、小名

浜第二小学校二年生七六名とともに、乳牛とのふれあい(搾乳牛一頭(小沢牧場提供)、子牛六頭(中瀬牧場・清水牧場提供))、酪農の話、各教室でバターづくりを行うなど、子供たちは酪農体験を通して、終日元気いっぱい学び、楽しんでいました。

東北復興支援事業として、六年目の今年度は、



九月六日(火)にいわき市立小名浜第二小学校から始まり、その後、九月二一日(水)に岩手県陸前高田市立竹駒小学校、十月十四日(金)宮城県仙台市立岡田小学校の三か所で開催され、今事業やうつくしまもくもくスクールでも、たくさんの子供たちが笑顔になれる活動を引き続き行えますようご支援ご協力お願い致します。

牛乳だいすき!
お料理だいすき!



親子で

ミルク クッキング



参加費無料!

抽選で
各日**16組!!**
落選通知は行いません。

南相馬
会場

2016
11/19 土

太田生涯学習センター
AM10時~PM14時

教室

南相馬市&
白河市で
開催!

白河
会場

2016
11/20 日

白河市産業プラザ
人材育成センター
AM10時半~
PM14時半

牛乳を使った
手軽でカンタン
おいしいメニューを
作ってみよう!



応募資格 / 小学校3~6年生の児童とその保護者
(親子各1名)
募集人数 / 各16組32名
申込方法 / 専用ハガキでお申し込みください。
申込締切 / 2016年10月24日(月)

必着

※抽選の上当選者の方へ、当日のイベント情報が記載された通知を発送いたします。
※落選通知は行いません。ご了承ください。



ミルククッキング講師
本田よう一先生 (泉崎村出身)

1983年生まれ泉崎村出身。高校を卒業した後、栄養士の専門学校に進み、栄養士の免許を取得。卒業後は独学で、料理写真を学び、フリーカメラマンに。2006年からは料理家として仕事を開始。あったかふくしま観光交流大使として活動中。
<フリーペーパー>aruku ばばとのかんたん e-cooking
<TV>KFB福島放送「ドミソラ2」本田よう一のうれシビ
ホームページ… <http://youichi-honda.com>

主催 福島県牛乳普及協会

後援 / 福島県・南相馬市教育委員会・白河市教育委員会
全国農業協同組合連合会福島県本部・福島県酪農業協同組合

詳しくは、福島県酪農協のホームページの「イベント情報」をご覧ください!! 「福島県酪」で検索!!

福島県酪



全酪連の小窓 第62回

～子牛に水を与えましょう～

お世話になっております、全酪連の今城です。だいぶ秋らしくなり、過ごしやすくなりましたが皆様はいかがお過ごしでしょうか。さて、秋刀魚の美味しい季節になりましたね。私はシンプルに塩焼きにしたものを、大根おろしと、すだちをかけて食べるのが好きです。(ちなみに、サンマー麺は秋刀魚が乗ったラーメンじゃないということを知りました・・・)

今回の全酪連の小窓は「子牛に水を与えましょう」です。水の重要性を再認識し、将来の稼ぎ頭になる子牛の管理についてもう一度見直してみませんか。



水は重要

哺乳中の子牛にとっての水は、育成牛、乾乳牛、搾乳牛と同じように重要です。子牛の主な死因は、脱水症との合併症であることは有名です。これは、未熟な免疫システムと消化システムによる消化不良が原因となっており、水分補給は消化システムを助けることになるのです。

哺乳子牛への水の供給

子牛に水を正しく給与することで早く発育させる事ができる

生後3週間のホルスタイン子牛は通常、牛乳や代用乳を通して、1日約3.8ℓの水分を得ています。さらに自由に水を飲めるようにすると、生後3週間は1日0.8～1.5ℓ、生後4週間までに1日3.0～3.8ℓ、生後2ヶ月までには1日5.6～7.6ℓの水を飲みます。また、固形飼料(スターター)の摂取量が増えるにつれ、飲水量が劇的に増加します。

※代用乳とスターターを給与している子牛(生後1ヶ月)に水を自由に与えると、水を与えなかった子牛に比較して、スターター摂取量が46%、増体率が61%高くなったという実験結果が報告されています。

(人間におけるクッキーやせんべい(=スターター)を水分なしで食べるのは難しいのと同じ理屈ではないでしょうか。)



子牛の水に対する反応

	自由に水が飲める	水の給与なし	効果
飲水量 L/日	1.52	0	
スターター摂取量 Kg/日	0.418	0.286	46%
増体量 Kg/日	0.300	0.186	61%

*from Kerts et al.(1984), J.Dairy Sci.67:2964

実際には暑い気候などの厳しい条件下では、十分な水を与えないと子牛に悪影響を及ぼします。寒い気候でも、水は同じように重要です。寒い気候では相対湿度が比較的低いので、子牛は呼吸によって多くの水分を失う事になります。従って、十分な水を飲まないでスターターの摂取が制限されてしまいます。

また、代用乳の摂取量を高めるために水を与えなかったり、減らしたりするのはなく、水と代用乳ははっきりと区別していく必要があります。

※哺乳後、30分以内は水を給与しないようにしましょう(下痢防止の為)。

飼料バケツと水バケツは離して置く

最もよく見られる間違いは、子牛個体ペンで飼料(スタータ)の直ぐ隣に水のバケツを置いてある事です。1980年代初期にミズリー州グレイサミットのピュリナ研究センターで行われた実験では、離乳後のホルスタイン子牛(生後2ヶ月)に対して、水とスターターの2つのバケツを隣り合わせで置いたときと、水とスターターのバケツを仕切って物理的に離して置いたときを比較しています。この実験では、バケツの清掃時以外は、常に水とスターターのバケツを子牛が利用できるようにしました。

※仕切りを使ってスターターと水のバケツを離すと、隣り合わせに置くよりも、飲水量は33%、スターター摂取量は13%、増体率は18%高くなりました。

2つのバケツが近いと飼料と水が交差汚染し、子牛はあまり食べたり飲んだりしなくなります。

簡単な仕切りや分離で飼料と水を離せば、交差汚染を防ぐ事ができます。また飼料と水のバケツをそれぞれペンの反対側に置く、カーフハッチの反対側の壁に置く事もできます。

水とスターターのバケツを離しておくことは、子牛の発育にとって大変重要なコトといえます。毎日、給餌の間に給水バケツの水を棄て、必要ならばバケツを洗浄しましょう。また、水は清潔で、飼料や牛糞で汚染されていないようにすることが大変重要です。

今回も最後までお付き合い頂きましてありがとうございました。水の給与ほど費用対効果の高いものはありません。もう一度の哺乳牛への水の給与方法を見直してみたいでしょうか。



(全酪連 今城)

乳牛頭数調査集計表（公共機関を含む）

2016年8月31日現在

区 分	酪農家戸数			乳 牛 頭 数									
	戸数 (避難戸数)	前年度 戸 数	前年比	育成	初妊	経 産 牛				合計	前年度 頭 数	前年比	1戸当 り頭数
						乾乳 妊娠	妊娠 搾乳	空胎 搾乳	小計				
県 北 支 所	(7)20	24	83.3	253	115	74	514	666	1,254	1,622	1,099	147.6	81.1
安 達 事 業 所	21	22	95.5	78	49	52	129	272	453	580	619	93.7	27.6
県 中 支 所	29	31	93.5	148	64	98	181	456	735	947	1,011	93.7	32.7
田 村 事 業 所	27	28	96.4	32	15	22	51	162	235	282	314	89.8	10.4
小 野 事 業 所	26	28	92.9	51	29	59	90	224	373	453	480	94.4	17.4
会 津 事 業 所	8	9	88.9	71	26	37	72	120	229	326	320	101.9	40.8
浜 支 所	(34)10	11	90.9	82	21	19	52	127	198	301	326	92.3	30.1
県 南 支 所	52	58	89.7	614	284	313	661	1,164	2,138	3,036	3,213	94.5	58.4
JAふくしま未来(飯館)	(11)0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
県 酪	193	211	91.5	1,329	603	674	1,750	3,191	5,615	7,547	7,382	102.2	39.1

区 分	月 別 分 娩 予 定 頭 数							販 売 乳 量				
	2016 9月	2016 10月	2016 11月	2016 12月	2017 1月	2017 2月	2017 3月	牛乳 出荷 戸数	地域別販売乳量		1日1頭当り乳量	
									1日当り	1日1戸 当り	搾乳牛	経産牛
県 北 支 所	72	57	61	103	111	97	202	20	28,466	1,423	24.1	22.7
安 達 事 業 所	36	40	33	40	28	22	31	21	10,459	498	26.1	23.1
県 中 支 所	54	53	59	44	46	33	54	29	16,018	552	25.1	21.8
田 村 事 業 所	12	17	13	17	14	9	5	26	4,869	187	22.9	20.7
小 野 事 業 所	28	31	17	26	32	23	21	25	8,076	323	25.7	21.7
会 津 事 業 所	23	22	15	15	28	20	12	8	4,451	556	23.2	19.4
浜 支 所	12	9	20	15	8	13	15	8	4,234	529	23.7	21.4
県 南 支 所	175	163	184	182	190	166	198	52	49,032	943	26.9	22.9
JAふくしま未来(飯館)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
県 酪	412	392	402	442	457	383	538	189	125,604	665	25.4	22.4

平成28年度受託乳量の状況

平成28年8月の受託乳量は、県全体で前年比103.8%の実績でありました。

団体別の受託乳量は、本組合が3,894トﾝ、前年比106.4%（対前年同月236トﾝ増）、全農県本部は1,999トﾝの対前年比98.9%（対前年同月23トﾝ減）の実績で

ありました。

東北生乳販連の受託実績については、前年比99.6%となりました。

なお、全国の受託実績は対前年比99.8%であります。（北海道：100.3%、都府県99.2%）

平成28年度用途別販売乳量の状況（東北全体）

8月の東北全体での用途別販売状況については、醗酵乳向けは113.2%（全国の前年比102.2%）と上回り、飲用向けが98.3%（全国の前年比100.3%）、加工乳向けは前年比95.9%（全国の前年比99.3%）、学乳向けが91.1%、生クリーム向けは86.2%（全国

の前年比99.5%）、チーズ向けは94.9%（全国の前年比96.9%）と前年を下回り推移した。

なお、今月の当組合酪王乳業での生乳使用量は日量平均46.0トﾝで、本組合生産量の36.6%、県全体生産量の24.2%を処理しています。

平成28年度月別支払乳価表

8月分支払乳価については、現在のところ加工向け飲用向け共に価格据え置きで取引されており前年対比で大幅な乳価増減は有りませんでした。プール乳価、補給金単価合せて前年より36.4銭下回る単価となりました。

■東北全体プール乳代金 4,675,330千円 単価105.871円
 ■内 福島県分プール乳代金① 610,153千円 単価105.871円
 プール対象外乳代金② 26,588千円
 (学乳向け・買取向け乳代金)

合計乳代金①+② 636,741千円 単価108,045円

項目	28年8月	前年同月	増減	前々年同月
プール乳価	103円768	104円069	-0円301	100円690
補給金単価	1円108	1円171	-0円063	1円288
合計	104円876	105円240	-0円364	101円978

(注)上記合計は、脂肪率3.5%・無脂固形率8.3%の補給金込みの乳価。

(東北全体8月)

用途別	販売乳量(ト)	日量(ト)	前年比(%)
飲用向け	31,496	1,016.0	98.3
加工向け	3,897	126.0	95.9
学校給食向け	803	26.0	91.1
醗酵乳向け	7,160	231.0	113.2
生クリーム向け	1,346	43.0	86.2
チーズ向け	260	8.0	94.9
全乳哺育向け	1	0.0	100.0
合計	44,963	1,450.0	99.6

団体別受託乳量の状況

団体名	8月分		
	受託乳量(ト)	日量(ト)	前年比(%)
県酪協	3,894	125.6	106.4
全農福島県本部	1,999	64.5	98.9
合計	5,893	190.1	103.8
東北生乳販連	44,963	1,450.4	99.6
全 国	586,167	18,908.6	99.8

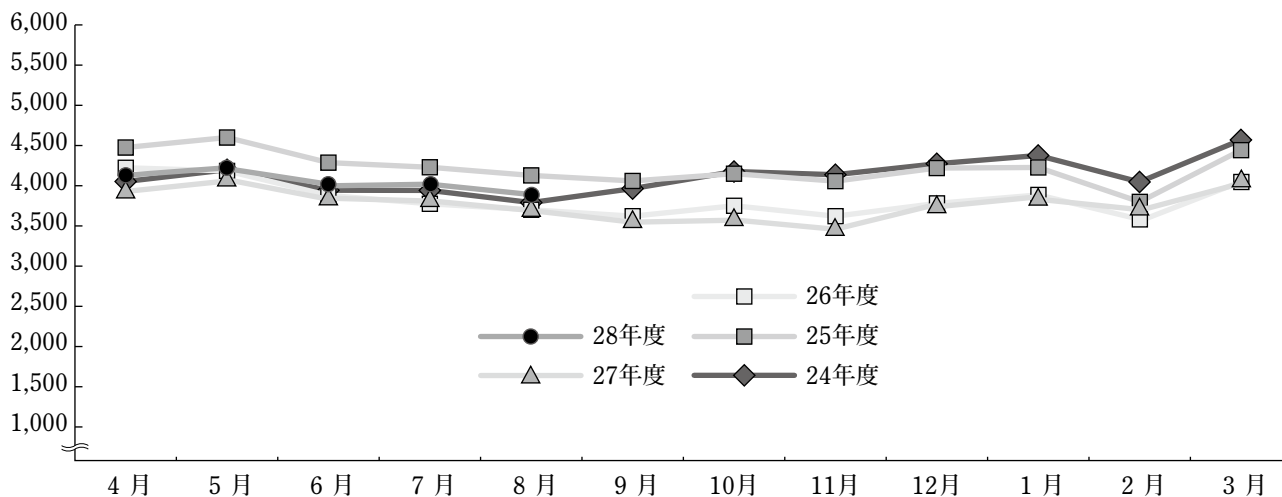
備考

1) 買取乳量を除く

月別受託乳量 県酪協 (トン)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
24年度	4,052	4,200	3,943	3,913	3,790	3,964	4,178	4,110	4,273	4,373	4,054	4,569	49,419
25年度	4,476	4,605	4,287	4,231	4,129	4,062	4,149	4,053	4,219	4,276	3,807	4,343	50,637
26年度	4,148	4,185	3,879	3,775	3,703	3,621	3,749	3,620	3,781	3,886	3,577	4,035	45,959
27年度	3,921	4,061	3,836	3,802	3,658	3,513	3,575	3,486	3,668	3,830	3,708	4,071	45,129
28年度	4,094	4,231	4,025	4,028	3,894								
前年比%	104.4	104.4	104.9	106.0	103.8								

単位・トン



年次別・月別支払乳価一覧（補給金を含む）

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
28年度	105.156	106.012	106.878	105.825	104.876								
27年度	105.116	105.882	106.888	105.964	105.240	107.090	107.342	106.859	106.298	105.468	106.726	104.446	115.756
26年度	100.739	102.193	103.829	102.826	101.978	104.278	104.043	104.000	102.000	102.606	103.222	101.321	112.094
25年度	96.846	98.345	99.659	98.837	97.220	99.688	102.698	102.627	100.215	100.738	101.861	99.542	108.934
24年度	96.446	97.780	99.371	98.530	97.817	100.446	99.772	99.452	97.324	97.231	97.699	95.806	107.061

第251回 県酪協乳牛市場成績

平成28年9月14日開催

購買者数 32名（うち県外8名）

区分	畜種	雌雄	成立数 (成立率)	最高価格 最低価格	平均価格 (前回比)	平均体重 (前回比)	平均単価 (前回比)	
ET和牛 初生牛	ET和牛	メス	6 (100)	515,000 450,000	476,500 (94)	105 (105)	4,524 (90)	
		雄	24 (100)	667,000 443,000	541,208 (91)	112 (113)	4,829 (80)	
	乳牛	メス	1 (100)	43,000 43,000	43,000 (71)	66 (114)	652 (63)	
		雄	84 (100)	182,000 10,000	113,298 (81)	79 (110)	1,431 (73)	
	交雑牛	メス	86 (100)	283,000 2,000	212,500 (94)	75 (110)	2,843 (85)	
		雄	99 (100)	381,000 202,000	314,424 (103)	80 (110)	3,944 (94)	
	初妊牛			8 (100)	823,000 584,000	670,625 (107)		
	搾乳用雌子牛			4 (100)	380,000 309,000	344,250 (95)		

価格：円（落札価格） 率・比：% 体重：kg

初生牛の畜種別価格帯毎分布表

（0は0.1～0.9万円、1は1.0～1.9万円、以下同様。尚、落札価格です）

畜種	雌雄	価格帯(万円)																											
		44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68			
ET和牛	メス		3		1		1		1																				
	雄	3		1	1	2	1	1		1	1	1	2	1	2		2	2		1	1				1				
畜種	雌雄	価格帯(万円)																											
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24			
乳牛	メス					1																							
	雄		3		1	1			2	6	8	17	16	4	5	9	9	2		1									
畜種	雌雄	価格帯(万円)																											
		0	~	15・16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38			
交雑牛	メス	1		4	1	4	7	15	16	21	8	5	2	1		1													
	雄							1	1		1		1	2	5	14	18	16	12	11	6	7	2	1	1				

初妊牛・搾乳用雌子牛の価格帯別分布表

価格帯(万円)	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82
初妊牛	2			1						2			1	1											1
価格帯(万円)	0	~	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
搾乳用雌子牛																	1			1		1			1

組合の動き 9月

9月1日	辞令交付式（採用者）	9月14日	乳牛セリ市場
9月2日	田村方部事務所現地確認並びに説明会	9月15日	も～も～スクール（西郷養護学校）
9月3日		9月16日	福島県改良同志会役員会
～4日	ミルクフェア2016（ビッグパレット）	9月21日	酪農情勢意見交換会（東北生乳販連）
9月5日	畜産団体連絡協議会29年度畜産振興事業要望会議	9月25日	酪王まつり2016
9月5日	福島県原子力発電所廃炉に関する安全確保県民会議	9月26日	全国酪農協会新酪農会館建設委員会
9月6日	公牧連も～も～スクール（いわき市立小名浜第二小学校）	9月27日	福島県乳牛改良推進協議会幹事会
9月9日	第57回福島県農業賞表彰式（やまびこ会受賞）	9月28日	第6回理事会
9月11日	第23回ふくしま酪農まつり（県北）	9月28日	福島県乳牛改良推進協議会理事会
		9月29日	酪王乳業㈱取締役会
		9月29日	第6回経営検討会
		9月30日	も～も～スクール（本宮市立和田小学校）
		9月30日	辞令交付式（退職者）

理 事 会

第6回 9月28日

議 案

- 議案第1号 酪王乳業㈱への運転資金の貸付について
- 議案第2号 就業規則の改正について

報告事項

- 1) 今後の日程について

退職職員紹介

平成28年9月30日付退職

し ら え 白江	る み 留美	嘱託職員	経営管理課
-------------------	--------------	------	-------

平成28年度 福島県酪農青年研究連盟主催（会長 佐藤 正仁）
夏季レクリエーションを開催！！



表彰式後は、本宮市アサヒビール園に移動し、昼食を兼ねた懇親会を開催し、会員皆さんの親睦を深め、交流の場となりました。

ゲーム終了後には、表彰式が行われ、佐藤会長より各賞の受賞者、参加者全員に参加賞をお渡し致しました。各賞の受賞者は下記の通りです。

八月十七日(木)に酪青連主催で夏季レクリエーションが郡山市ポウルアピア郡山で開催し、会員同士語り合う交流の場となり、子供達の夏休みの思い出に！そして元気を回復するための癒しの場として、子供から大人まで総勢五三名のたくさんの方々が参加し、盛大に開催することができました。

ボウリング大会・懇親会で、仲間との再会、子供達の夏休みの思い出に♪

男性1位	女性1位
県北研究会 喜古 林尚さん	県南研究会 岩谷 光代さん
ハイゲーム	
県北研究会 喜古 林尚さん	酪農同志会 成田 昌弘さん
子供賞	親子賞
県中研究会 後藤 優大くん	酪農同志会 成田 柊くん



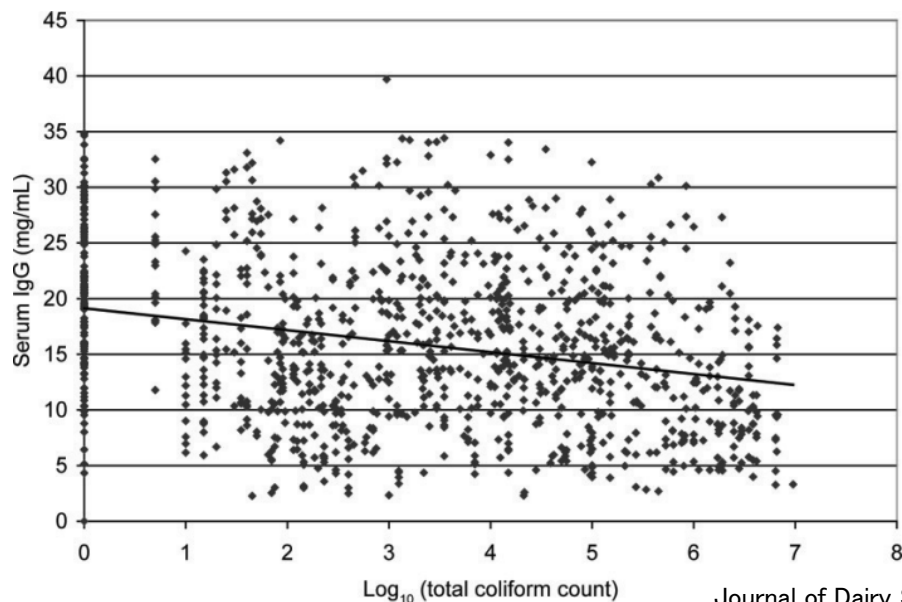
バイエル子牛の健康講座 おしえて！ウッシー先生^⑩

生まれた子牛に対する免疫の受け渡し(受動免疫)の話題が第8回から続いています。免疫の受け渡しに失敗している子牛が多いこと、初乳中の免疫グロブリン濃度にはばらつきがあること、生後1~2日でのIgG濃度が高い子牛は病気になりにくいことをご紹介しました。また、初乳製品を用いて群としての子牛の免疫を安定化させられることも話題にしました。そしてひとことで初乳製品と言っても「初乳サプリメント」と「代用初乳」があり、給与後の子牛の血中IgG濃度に違いがみられる事例を取り上げました。

今回は子牛の免疫力を下げてしまう要因のひとつについて考えたいと思います。下の図をご覧ください。横軸が初乳中の菌数(コリフォーム)、縦軸が子牛の血中IgG濃度を示しています。



ウッシー先生



Journal of Dairy Science Vol. 95 No. 7, 2012

図 初乳中の菌数と子牛の血中IgG濃度の相関

初乳中の菌の数が多いと子牛の血中IgG濃度は低下してしまいます。子牛は腸管から初乳中の免疫グロブリンを取り込まなくてはならないのに、菌によって取り込みが妨害されてしまうのです。ですから初乳が清潔であることはもちろん、容器や給与するときの環境も子牛の健康について大切な要因であることがわかります。次回も汚染された初乳を給与したときの子牛に対する影響についてご紹介いたします。



バイエル薬品株式会社

動物用薬品事業部

〒981-3133

仙台市泉区泉中央 1-14-1 インテレクト 21

TEL (022)776-0271

ZENOAQ コーナー～Vol.142～



カビとマイコトキシン

〒963-0196

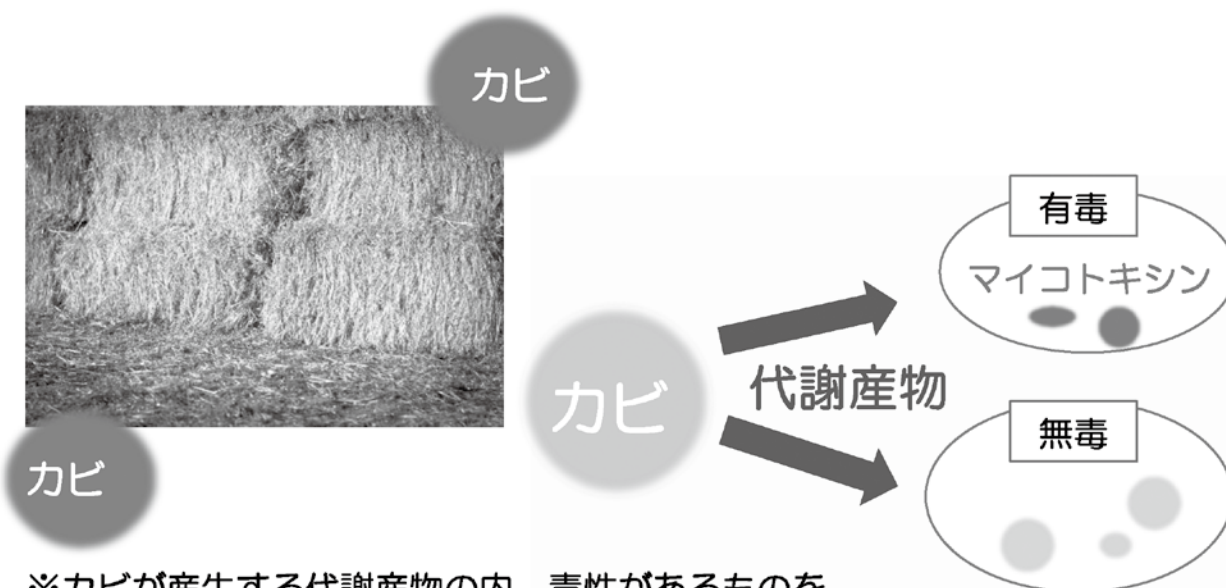
福島県郡山市安積町笹川字平の上1-1

日本全薬工業(株) 福島営業所

TEL024-945-2306 FAX024-945-9345

■今年の9月は長雨でカビとマイコトキシ ンに注意

今年は異常気象で、飼料にカビを生やしてしまった経験のある方も多いのではないのでしょうか。カビにも種類がたくさんあり、中には生体に悪影響を及ぼすマイコトキシン(カビ毒)を産生するものもあります。



※カビが産生する代謝産物の内、毒性があるものをマイコトキシと呼びます。

表：主なマイコトキシンと中毒症状

マイコトキシン	家畜に対する主な影響
アフラトキシン	肝障害など
デオキシニバレノール ニバレノール	消化器障害(嘔吐、食欲低下、下痢)、 免疫機能障害など
ゼアラレノン	外陰部肥大、流産など
フモニシン	白質脳軟化(馬)、肺水腫(豚)など

＜出典 獣医衛生学より一部抜粋＞

■マイコトキシン汚染について

マイコトキシンの汚染は貯蔵をしている時だけではなく、作物の栽培、調整の際にも汚染が起こります。つまり、カビが生えていなくてもマイコトキシンに汚染されていることもあります。

※流通飼料については、農水省の基準値以下になっています。



栽培



調整



貯蔵



飼料給与

どの段階でもマイコトキシンによる汚染を受ける可能性がある

■農場で出来る対策とは

明らかにカビが大量発生している飼料や高濃度のマイコトキシンが確認されている飼料、汚染が危惧される飼料を給与しないことが最も重要です。また、マイコトキシンを幅広く吸着できる吸着剤を用いることも選択肢の一つと考えられます。下記の臨床的特徴に心当たりがある方は、意識してみてもはいかがでしょうか。

■参考〈マイコトキシンの関与が疑われる農場〉

マイコトキシンの関与が疑われる農場の臨床的特徴を以下に紹介致します。マイコトキシンは目で見てわかるものではありませんが、高濃度に汚染された飼料を摂取し続けると牛群に対し悪影響を与えると考えられますのでご注意ください。

〈マイコトキシンの関与が疑われる農場の臨床的特徴〉

- ①季節、年度により農場の疾病発生傾向が大きく変化する
- ②軟便、泥状便が多い
- ③飼料の嗜好性が悪く、BCSの低い牛が多い
- ④リピートブリーダーの多発、外陰部の腫脹、流早産の発生
- ⑤治療薬剤に対する反応性が悪い

出典 2007年6月号・臨床獣医より一部抜粋 特集「マイコトキシンは今」NOSAI山形・和田先生

A飼料 カビ毒吸着材
アルミノ珪酸ナトリウム・カルシウム

マイコ-AD A-Z

特長

- ①高純度精製粘土です。
- ②弱アルカリ性粘土で、
- ③親油性粘土です。
- ④第三者機関における品質検査を行っております。
- ⑤ビタミン・ミネラルを吸着しません。



【包装】25kgクラフト袋

平成27年度 牛乳・乳製品利用料理コンクール 福島県大会入賞レシピ



桜の聖母短期大学
紺野 瑞紀さんの作品

和風クリーム春巻き



材 料

(材料:4人分)

・春巻きの皮 … 8枚	・レタス …… 40g	・揚げ油 …… 390cc
・麩 …… 20個	・ミニトマト …… 8個	
・玉ねぎ …… 130g	・小麦粉 …… 30g	【のり用】
・こしょう …… 1g	・ピザ用チーズ… 30g	・小麦粉 …… 30g
・味噌 …… 20g	・牛乳 …… 400ml	・水 …… 30cc
・冷凍枝豆 …… 85g	・バター …… 30g	

●作り方

- ① 牛乳にこしょうと味噌を入れ、溶かしておく。麩は牛乳に浸しておく。レタスとミニトマトは水洗いしておく。
- ② 玉ねぎは皮をむいて薄切りにし、冷凍枝豆は解凍しておく。フライパンにバター5gを入れて薄切りにした玉ねぎをしんなりするまで炒める。
- ③ 鍋に小麦粉と残りのバターを入れ、弱火でよく混ぜ合わせる。混ざってきたら①の牛乳を3回に分けて入れ、全体が混ざり合うようにしっかりと混ぜる。

牛乳で浸した麩と枝豆・炒めた玉ねぎを加えてとろみがつくまで煮たら冷ましておく。

- ④ 春巻きの皮に③を入れ、その上にチーズをのせて巻き、160℃～170℃の油に入れ、きつね色になるまで揚げる。皿にのせ、レタスとミニトマトを添える。

ポイント

具材は、味噌や麩・枝豆を入れ、和風のホワイトルーを作り、それを春巻きの皮で包んで揚げ、外はパリッと中はとろっとして味噌の風味がおいしいです。



9月4日東和町で東和ふるさと祭りが開催され多くの来場者で賑わいました。東和畜産振興会では牛肉販売と酪王ブースを設置し地場産業のPRに努めました。酪王製品の販売ブースには、地元酪農家に加え、来場者の中学高校の女子生徒も緊急参戦し完売にご協力をいただき、若者のパワーを改めて感じました。祭りには若い力が必要です。

『ほっとMilk』投稿募集について

1. テーマは自由 (ほっと(∩∩)する話題がいいですね)
◎文章だけでも結構です。
◎写真があると最高です。
2. 受付 (常時受け付けています)
メール・FAX・支所経由・直接持参、何でもOKです。
E-mail : hiro-watanabe@fukuraku.or.jp・FAX0243-33-1103

発行者 福島県酪農業協同組合
発行責任者 常務理事 岡 正宏

〒969-1103 福島県本宮市仁井田字一里壇17番地
TEL 0243-33-1101 FAX 0243-33-1103
URL <http://www.milk.fukushima.jp>